

【23_016技術系メルマガ】小さな疑問を言葉にする(検証のテーマ探し)

〇〇さん

こんにちは、クロガキ(クロ)です。

毎度ながら、検証のやり方については常々質問があるのですが

今日は「多分みんな、うっすら考えてるはずだけど、意外とやって無さそうな事」をテーマとしたいと思います(笑)

「これってどうなんだろう？」が新たな検証のテーマになる

これは、ある程度「仮組みの型」を軸に検証・テストを始めている人が対象になります。

皆さんも実際検証やフォワードテストをやっている中で

「この動き、ルールに組み込んだらチャンス増えないかな？」とか、逆に

「ここで仕掛けると負ける事が多いから、避けた方がいいのかな？」といった

ルールに従うだけでは認識できないけど、よく見かける(気がする)値動きを認識して

それをルールに組み込めないかを考えた事があると思います。

これです。これこそがあなたにとっての『新たな検証テーマ』なのです。

ほとんどの勝てない人は、この「思い付き」を「ルールの修正」と称して

検証・テストもせずにいきなり実戦に持ち込んでしまいがちです。

それをやるとどうなるかは、言うまでもなく『一貫性の喪失』につながります。

その時見かけたその現象は、「直近の相場でたまたま頻出していた」だけで

過去の傾向を見るとそんなに出現頻度は高くないかもしれません。

それだったら、そんな動きを考慮してルールを修正しても機能するはずがありませんよね。

『過去にも頻繁に出て来ていたし、それが直近の相場でもよく起こっている』ことが確認できて始めてルールの修正にも適用できます。

それを確認するためにも、十分に過去チャートでの検証や、シミュレーターでのテストが必須ですよ。

僕は最近、FT5も検証テストに導入するようになったので

最低でも1年分の傾向は必ずチェックしてから、ルールに組み込むかを考えます。

(頑張れば1週間もあれば確認できますので)

こういった作業を面倒がらずに丁寧に吟味できるかどうか

『トレードの技術』という側面で考えた際の要所になるのではないと思うこの頃です。

今日も気になるテーマがあるので、早速検証していきたいと思います。